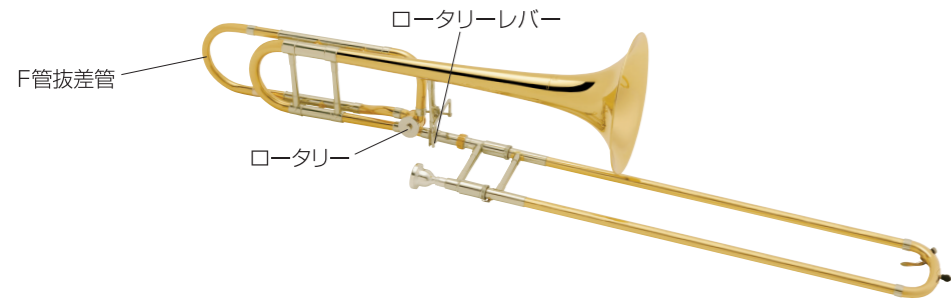


Antoine Courtois
Paris



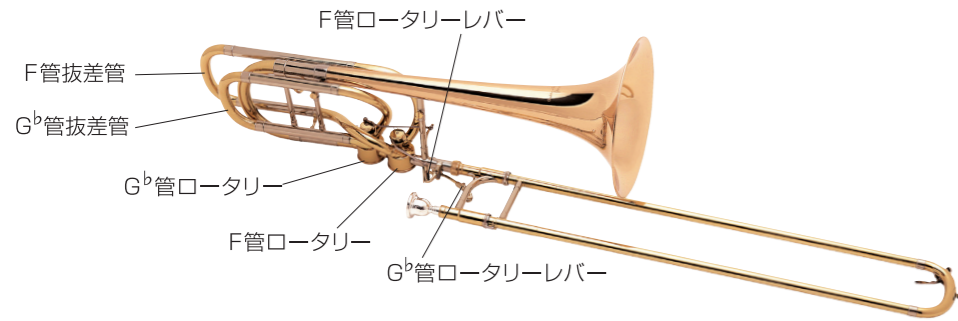
TENOR BASS TROMBONE

テナーバストロンボーン



BASS TROMBONE

バストロンボーン



インナーズライド



アウトースライド



■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。
いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合はお買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。



ラッカー仕上げ

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL. 03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

ショールーム TEL.03(5632)5728

テクニカルサポート TEL.03(5632)5524

営業時間 10:00~17:30(日・月曜日、祝日定休)



〈アントワヌ・クルトワ〉
www.a-courtois.com/ja/



〈B&S〉
www.b-and-s.com/ja/

※営業時間に変更となる場合がございます。
最新の情報はブランドウェブサイトをご確認ください。

取り扱い説明書

〈アントワヌ・クルトワ〉〈B&S〉

トロンボーン (アルト／テナーバス／バス)



BUFFET CRAMPON

Antoine Courtois
Paris



■演奏前の準備

【スライドの準備】

1. スライドロックをゆるめ、アウトースライドを抜き取ります。
2. インナースライドにスライドクリームまたはスライドオイルを塗ります。クリームタイプの場合は、ごく少量をインナースライド全体に塗り伸ばします。
3. ウォータースプレーで十分に水を吹き付けてください。
4. インナースライドとアウトースライドをセットし、数回動かしながら演奏中にスライドの動きが悪くなった場合にも、ウォータースプレーで水を吹き付けてください。

スライドは曲がりやすいので、取り扱いに充分気を付けてください。また、スライドにへこみや歪みがあると動作不良の原因となります。

オイルタイプの場合は、使用方法の異なるさまざまなオイルが市販されています。それぞれの使用方法に沿ってご使用ください。

演奏前の点検

息漏れをしていますか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

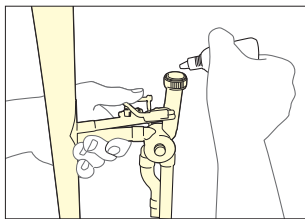
ネジ類がゆるんでいませんか？

ネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてご使用ください。

【ロータリーバルブへの注油】

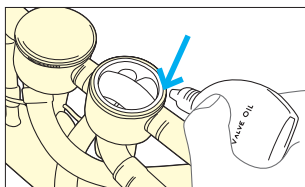
【トラディショナルロータリー】 【アイコンバルブ】

本体ジョイント部より、ロータリーレバーを押しした状態で、バルブオイルをさしてください。その後、数回ロータリーレバーを上下させ、バルブオイルをなじませます。



【ハグマンロータリー】

ロータリーキャップを外し、バルブオイルをさしてください。その後、数回ロータリーレバーを上下させ、オイルをなじませます。



■組み立て

1. 管体のジョイント部にスライドを差し込み、しっかりと固定させます。
2. ジョイント部のネジを締めてください。

スライドは必ず2本の支柱を持ってください。

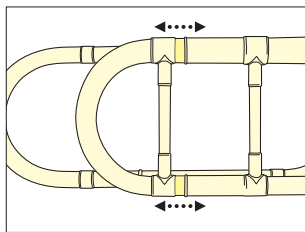
管体とスライドの角度は演奏しやすい位置にセッティングしてください。

【マウスピースの取り付け】

マウスピースを軽く差し込みます。強く差し込むと抜けなくなることがあるので注意しましょう。

■ピッチの調整

ピッチの調整は、各拔差管をスライドさせて行います。ピッチは気温に影響されるので、演奏前に十分に息を吹き込んで楽器を温めてから調整してください。



■演奏後のお手入れ

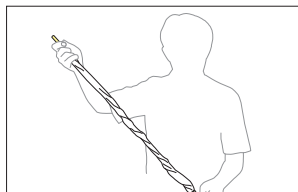
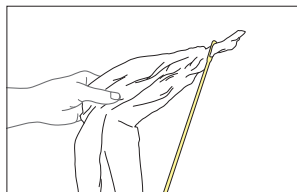
【水抜きとロータリーバルブへの注油】

1. ウォーターキーからスライドの水分を十分に抜いてください。
2. 演奏前と同様に、バルブオイルを各ロータリーにさしてください。

スライドに古いクリームやオイル、水分が残ったまま長期間放置すると、クリームやオイルが劣化してしまい、動作不良の原因となります。また、砂埃などがスライドに入ると管を傷つける場合があります。

【スライドのお手入れ】

1. クリーニングロッドにガーゼを巻き付け、アウトースライドとインナースライドの内側の水分と汚れを拭き取ります。その際、クリーニングロッドとガーゼを一緒にしっかり握ってください。



2. インナースライドの表面の水分と汚れを拭き取ります。

クリーニングロッドが管の内側にキズをつける場合があるので、必ずガーゼを全体に巻き付けましょう。

【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■定期的なお手入れ

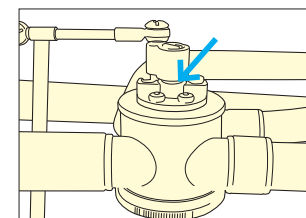
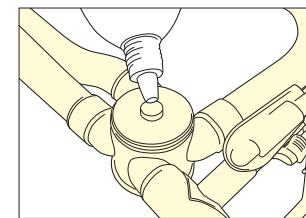
【各拔差管のお手入れ】

1. 各拔差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。
2. 拔差管にグリスをなじませるように2～3回スライドさせてください。

拔差管は、汚れがたまると動きが悪くなり固着の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。主管以外の拔差管は、ロータリーレバーを押しした状態で抜き差ししてください。

【ロータリーのお手入れ】

1. ロータリーのキャップを外し、中心部にバルブオイルを少量注油します。
2. ロータリーの回転軸には、市販のロータリーオイルなどを少量注油します。



【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で十分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、楽器の洗浄を行いましょう。

【スライドの洗浄】

1. 中性洗剤を含ませたフレキシブルクリーナーで、インナースライドとアウトースライドの内側を洗います。
2. 洗浄後、きれいな水で十分に洗い流してください。

【本体の洗浄】

テナーバストロンボーンやバストロンボーンなどのロータリーが装着されている楽器本体は、専門の技術者に洗浄してもらいましょう。

こんな時は

お買い上げ店または弊社テクニカルサポートにご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物（バルブオイル、クロス等）が入り込み、取れなくなることがあります。

ハンドが外れてしまった。

ハンドが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。